

## 年頭にあたって



沼田市長 星野 已喜雄

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃の市政推進へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

また、昨年3月に発生いたしました東日本大震災により、亡くなられた皆さまのご冥福をお祈り申し上げ、被災された多くの皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

昨年は、本市におきましても大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故の影響による農産物や観光産業への風評被害など、今まで経験したことのない問題が発生し、危機管理に対する体制整備の重要性を再認識したところであります。大震災による被災地への支援

や物資の取りまとめなど、多くの皆さまのご支援とご協力に改めて感謝申し上げます。今後におきましても引き続きご協力をお願いいたします。

一方、群馬ステイネーションキャンペーンへの対応や東京都新宿区、港区などの都市間交流の推進、真田の歴史をまちづくりを生かすイベントの開催などにより、本市の魅力を大きく発信したほか、国道120号椎坂バイパス建設工事も計画的に進展しており、未来への発展を期待させる年でありました。

今年、合併から8年目を迎え、「水と緑の大地 田園空間都市」を将来像とする第五次総合計画後期実施計画の初年度に当たることから、計画推進のため、「安全・安心」、「健康・福祉」などの5つを柱に掲げ、皆さまとともに明るく元気なまちづくりのため各種事業に取り組んでまいります。依然として厳しい本市の財政状況であります。最小の経費で最大の効果を上げるべく、さらなる行財政改革を推進し、職員ともども一丸となり市政運営にまい進する所存であります。

結びに、新しい年が皆さまにとって輝かしい良い年でありますように心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 新年を迎えて

市民の皆さま、明けましておめでとうございます。平成24年の新春をことほぎ、市議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、3月11日に発生した巨大地震による東日本大震災や福島第一原子力発電所の放射性物質汚染問題により、日本国全体が大きく揺れ動き、今まさにそこにある危機にどう対処すべきかが問われた年でありました。

そんな中であつて、女子サッカー「なでしこジャパン」がワールドカップ初制覇という快挙を成し遂げ、日本人としての夢と希望と誇りを喚起させられたことは、まだ記憶に新しいところであります。

議会におきましては、4月に定数を



沼田市議会議長 大島 崇行

22人とする市議会議員選挙が行われ、構成が改められました。議員それぞれの決意も新たに、新春を迎えられたことと思ひます。

私自身、議長就任以来初めての新年を迎えることとなりましたが、この間に市民の皆さまから多数寄せられましたご指導、ご厚情に対して心から感謝申し上げます。

今年、「水と緑の大地 田園空間都市」を将来像とする第五次総合計画後期実施計画の初年度に当たり、前期計画5カ年の検証を踏まえた事業選択のもと、具現化を図ることが求められています。本市の財政状況は、指数的にはわずかながらも改善の兆候を示しているものの、国県の施策によって大きく左右される依存体質に変わりはなく、依然として厳しい状況といえます。

議会といたしましては、今後、地域主権を推進するため、議員個人の資質向上はもとより、さらなる議会活動の充実を図り、市民の皆さまのご期待に沿えるよう努めていく考えであります。結びに当たりまして、皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が皆さまにとって幸せ多い年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

# 迎春